

良好な住宅地や農地の環境を維持しながら、
まちの資源や機能を活かした利便性の高い
「地域の身近な交流の拠点」の形成

上位関連計画やまちの現況に加えて、地域の皆様から頂いたご意見を踏まえ、まちづくりの方向性（たたき台）の視点を見直し、修正案として整理しました。

視点① 地域振興拠点

拠点としてのまちの玄関口と道路基盤の整備

視点② 住民の暮らしやすさの向上

まちの活性化につながる土地利用を誘導し、
日々の暮らしの利便性・快適性の向上を図る

視点③ 緑・農地・公園

農地や公園の保全・活用により潤いのある住環境を形成

まちづくりコンセプトの見直し
【恋ヶ窪ブランディングコンセプト】

【視点①】

地域の交流の拠点にふさわしい基盤の充実

- 市民生活と地域交流の中心となりまちの玄関口となる駅を中心とした拠点の形成
- 地域活動を支える道路基盤の充実
- 暮らしを支える安全・安心な住環境の形成
- 周辺地域では、農地の保全により、ゆとりある住環境の形成

【視点②】

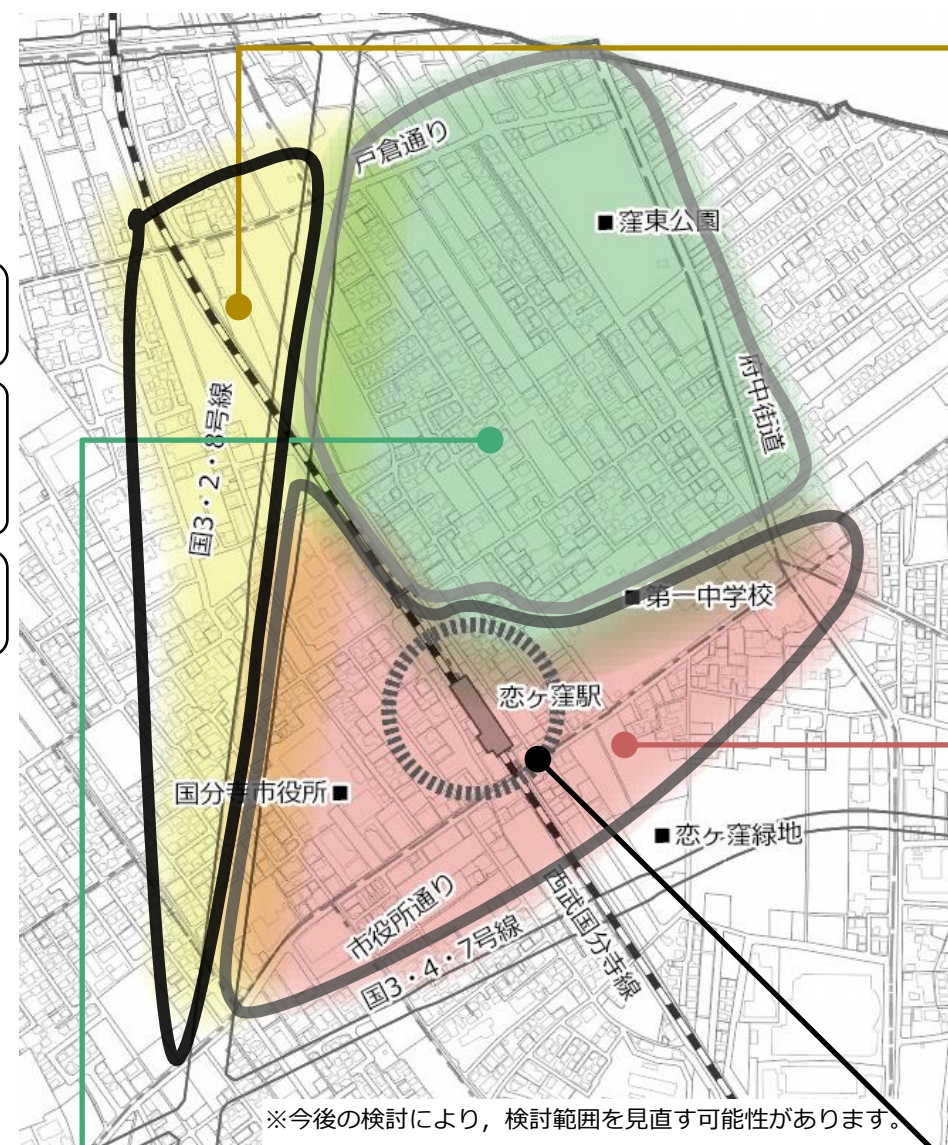
暮らしの質を高めるまちのにぎわい

- 駅と主要道路を活かし、市民にとって、便利、快適な都市機能（商業・業務、公共機能）が集積したエリアを形成
- コミュニティを育み、交流を促す場と機会の創出
- 駅近くのまとまった土地は、地域の活性化につながる有効活用を図り、交流人口を拡大

【視点③】

暮らしを豊かにするまちの緑

- 公園の活用
- 農地の保全
- 道路内の緑化
- 民地内の緑化



※今後の検討により、検討範囲を見直す可能性があります。

Cゾーン

安全・安心、快適で、ゆとりある住環境の形成

<現況>

- ・ 耐火性・防火性の低い建築物の老朽化
- ・ 農地の宅地化が進行
- ・ 道路基盤が弱い弱で、自動車の相互通行や緊急車両の円滑な通行が困難

<方向性>

- ・ 災害時の一時避難場所にもなり得る農地の適切な保全
- ・ 農地と住宅が調和した安全・安心で、ゆとりある住環境の形成
- ・ 住宅の建替えに併せた建築物の耐火性・耐火性の向上や道路の改善、住宅や塀のセットバック等による道路状空間の確保を進めて、安全・安心、快適な住環境を形成

Aゾーン

新たな活力と交流をもたらす沿道環境の形成

<現況>

- ・ 国3・2・8号線を利用した市内外からの来訪者の増大が期待
- ・ 国3・2・8号線沿道にみられる、都市農地と低層住宅の景観

<方向性>

- ・ 市内外からの来訪者の利便性に配慮した沿道商業施設の立地誘導
- ・ 新たな活力と交流をもたらす地域の形成
- ・ 市の魅力をけん引する緑豊かで良好なまちなみ景観の形成

Bゾーン

安全、快適な都市機能と、魅力ある住商調和のまちの形成

<現況>

- ・ 市役所通り沿道は、店舗の減少や建物の老朽化が進み、商業機能が低下
- ・ 歩道幅員が狭く、安全・安心、快適な通行が困難

<方向性>

- ・ 市役所通り沿道がにぎわいと活気のある商業地となるよう、また地域内外の交流が促進されるよう、商業店舗等の立地を誘導
- ・ 駅前の魅力を高め、日常生活の利便性を支える商業の立地を誘導し、暮らしやすい住商が調和したまちの形成
- ・ 子どもから高齢者まですべての人が安全で快適に利用できる歩行環境の確保
- ・ 地域のにぎわいをもたらす土地利用の誘導

恋ヶ窪駅前周辺

<現況>

- ・ 西側改札のみ、駅前広場はない
- ・ 駅前は送迎用車両と駅利用者で一時的に混雑

<方向性>

- ・ 交通基盤の整備
- ・ バリアフリーに配慮した駅へのアクセス性の向上
- ・ 安全・安心、快適なエリアの拠点の形成
- ・ 来訪者に対する利便性の向上